

なごやボランティア・NPOセンター運営審議会 議事録（平成 20 年 11 月 12 日）

○平成 20 年度第 1 回運営審議会 概要

- 1 日 時 平成 20 年 11 月 12 日（水）午前 9 時 30 分～12 時
- 2 場 所 伏見ライフプラザ 3 階 市民研修室 （中区栄一丁目 23 番 13 号）
- 3 委 員 会 長 千頭 聡 （日本福祉大学 教授）
副会長 志水 暎子 （名古屋文化短期大学 教授）
委 員 大熊 宗麿 （社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会
ボランティアセンター副所長）
委 員 三品 優子 （財団法人名古屋都市センター 主査）
市民委員 雑賀 昭
" 平井 まり
" 吉田 銃
" 吉本 恭子
- 4 出席者
(1)委 員 志水副委員長会長始め 7 名（千頭委員長は欠席）
(2)指定管理者 特定非営利活動法人ワーカーズコープ
松垣所長、川辺東海開発本部長、坂林理事
(3)名古屋市 市民経済局地域振興課
杉山地域振興課長、茂谷地域振興課市民活動係長、竹上主事
- 5 議 題 なごやボランティア・NPOセンターの事業について

茂谷係長 ただ今より、平成 20 年度なごやボランティア・NPOセンター運営審議会（以下、「審議会」といいます。）を開催いたします。私は市民経済局地域振興課市民活動係長の茂谷と申します。

千頭会長につきましては、本日急用があり欠席とのご連絡がありました。

では、本年 4 月の人事異動により鈴木委員と田島委員の後任として本運営審議会の委員をお願いすることになりました新しい委員様を紹介いたします。社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会ボランティアセンター副所長の大熊宗麿様です。財団法人名古屋都市センター調査課主査の三品優子様です。

それでは、開会に当たりまして、地域振興課長から一言ご挨拶申し上げます。

杉山課長 課長挨拶

茂谷係長 それでは議事に入らせていただきます。本日は、千頭会長はご欠席ですので、議事進行は志水副会長様にお願いします。それではよろしくお願いします。

志水副会長

司会をさせていただきたいと思います。よろしくお願いします。

さっそく始めさせていただきますが、今日は久しぶりの審議会なので実は楽しみにしてきました。指定管理者が代わって一体どうなっているのか、どういった報告があるのか、不安と楽しみが入り混じっています。皆様のご審議を活発にしていきたいと思います。特に新しい指定管理者に色々と私たちの意見をお伝えすると良くなると思いますし、新しい指定管理者からは具体的な特色について説明があればうれしいです。

さっそく今日の議題は、「平成 19 年度の管理運営実績について」、「平成 20 年度上半期の管理運営実績について」の 2 つが主な議題です。

初めに名古屋市より平成 19 年度のセンターの管理運営実績について、報告をお願いします。その後、各委員から質問・意見をいただきます。

茂谷係長

平成 19 年度の管理運営実績について説明します。配布資料中にある「2007 年度事業報告書」と「なごやボランティア・NPO センター利用実績（平成 19 年度）」をご覧ください。

センターの来館者総数は、平成 19 年度の実績は 56,267 人で、前年度比で 18% 増加しました。事業報告書の 36、37 ページに統計資料があります。こちらでは来館者総数が 63,693 人とありますが、これは市民向け啓発イベントとして平成 19 年 9 月に「全国ボランティアフェスティバルあいち・なごや」が愛知県内で開催され、センターも名古屋ブロックを共同で運営していることから、名古屋国際会議場で開催されたイベントへの参加者 7,426 人が来館者総数に含んでいます。

次に利用状況です。センターには会議室・集会室・第 1 研修室の貸室施設があります。いずれの施設についても増減率は前年度を上回っています。

利用件数は、会議室が 71.6%、集会室が 68.2%、第 1 研修室が 58.9% です。

相談・情報提供の件数は、ボランティア活動や、NPO の設立・運営に関する相談件数が 633 件、ボランティアの募集状況や NPO 団体等の紹介などの情報提供が 1,919 件ありました。詳しい内容は事業報告書の 10 ページを見てください。ボランティアに関する最も多かった質問内容は「ボランティアをやってみたいがどうしたら良いか」、「ボランティア活動にはどういったものがあるのか」が多いのが例年の傾向です。続いて国際交流や国際協力に関するもの、ボランティア団体からの受入に関する相談の順になります。

NPO についての相談では、運営に関するものが最も多く、続いて設立、法人化という順です。

続いて主催講座・イベントです。平成 19 年度の実績は 1 件増えて 50 回の事業を実施しました。

ボランティア入門講座は、先ほどの相談のところでも触れましたが、ボランティア活動について市民からの相談でも、何か活動したい、どういった活動があるのかといったものが最も多いということもありまして、これからボランティア活動を始めたい人が、自分に合った活動を見つけ参加できるよう

な支援を行い、ボランティア活動の楽しさを伝えることを目的に、計 4 回開催しました。

13 ページには、夏休み期間中に小学生を対象にしたボランティア体験講座を計 5 回実施しました。

14 ページには、NPO 入門講座が掲載されております。NPO の情報に触れた経験の少ない市民を対象に、NPO に関する基礎的な情報を習得することで、NPO に参加するきっかけとなる講座として、計 3 回開催しました。

また、国際協力等の活動につながるきっかけづくりとして NGO 入門講座を 4 回、スタディツアー合同説明会を開催しました。

既に、NPO 団体として活動している方々を対象に 17 ページ以降にございます NPO 運営入門講座、NPO 法人設立講座、NPO マネジメント講座、ボランティア受入マネジメント研修を開催しました。

また、イベント事業の関係でございますが、先ほどの来館者総数の関係でもご説明しましたが NPO と市民、NPO 相互の深めるため、「第 16 回全国ボランティアフェスティバル」が開催され、名古屋ブロックの行事を実行委員会として名古屋市社会福祉協議会と共同で開催しました。25 ページ以降に掲載されておりますが、ステージイベント、ブース展示、分科会講座を実施しているところです。

最後に、情報誌の発行についてご説明します。昨年度は情報誌「ぼらんぼ」を毎月 2000 部発行しました。紙面の概要につきましては、24 ページに掲載されておりますので、ご覧いただきますようお願いいたします。以上、平成 19 年度センターの事業実績についてご説明させていただきました。よろしくご審議いただきますようお願いいたします。

志水副会長

ありがとうございました。それでは委員の皆様、今お聞きの件で活動の内容ですとか実際に参加されたイベントですとか、ご意見がありました是非お願いします。

この内容についての意見が今年度の指定管理者への刺激になるかもしれませんので、忌憚無く何でもお話いただけたらと思います。

三品委員

説明の中には無かったのですが、事業報告書の 8 ページを見せていただきますと、ホームページ（以下、「HP」という。）立上げにあたって団体登録など一部の管理が名古屋市に移っているようですが、その際に新規の団体を得たりするため団体調査をする予定であったと記載されております。この点について現在どのような状況にあるのか教えて下さい。

HP をアクセシビリティに対応するため一新する際に、登録団体を一旦ゼロにして再度登録をしたようですが、この時に名古屋市は登録団体を増やすような取組みを考えていたようです。この点について、今の指定管理者での動きですとか、或いは今後検討していることがあれば教えて下さい。

茂谷係長 HPにつきましては平成 19 年度に更新しております。データを管理していたサーバーを移動させることにより、既存の全データは使用できなくなるため、新たに団体情報等を作成する必要がある旨を郵送にてご連絡したところです。しかしながら、団体登録等の更新作業は進んでおりません。今後は、様々な機会ととらえて団体登録の促進に努めてまいりたい。11 月から開始した第 1 研修室の利用申込みには団体登録が必要であるため、今後登録の機会が増えていくものと考えております。

三品委員 登録団体はどのくらい減ってしまったのか

茂谷係長 紙ベースでのデータは名古屋市で保存しております。HP 上での団体登録数が減っているということです。

三品委員 HP 上から閲覧できる情報が減っているということですか

茂谷係長 HP 上では、従前の団体登録情報を閲覧することはできません。新しく HP を作成した後に登録された団体の情報のみが閲覧可能です。

志水副会長 HP については、今年度の事業報告の時に改めて触れていただきたいと思います。他に何かございませんか。

私から一つ質問してもいいでしょうか。ボランティア入門講座を行っていますが、講座の開設時期とあわせて情報コーナーへのボランティア募集情報の掲示をボランティア団体に呼びかけるような講座と情報コーナーへの掲示を上手に連動させる事をされているのでしょうか。

茂谷係長 正確なことは申し上げられませんが、ボランティアの募集について講座とリンクさせるといったことがおそらくやってこなかったと思います。ただ、相談を受けた際には、ボランティア情報が掲示されていることをお伝えしており、ボランティア活動のマッチングを積極的に行うというよりは、個々人がその情報を見てご自身で判断し選んでいただくというのが基本的なスタンスであります。あくまでの情報提供やアドバイスに止めているのが現状であります。

志水副会長 この点については、現在対応できる方がいないということもありますので参考にしながらということで、次の議題に移りたいとおもいます。

平成 20 年度の上半期について、同じく名古屋市から説明をお願いします。

茂谷係長 平成 20 年度上半期の運営実績についてご説明します。平成 20 年 3 月の運営審議会で説明させていただいておりますとおり「ぼらんぼコンソーシアム」にかわり「特定非営利活動法人ワーカーズコープ」が今年度から新しい指定管理

者として当センターの管理運営を行っているところでございます。

お手元の資料にありますとおり、上半期利用実績を月別に集計したものと、3月の運営審議会で指定管理者から説明のありました今年度の事業計画の進捗状況について概要をまとめさせていただきました。詳細についてはワーカーズコープの松垣所長からご説明させていただきますのでよろしくお願いします。

松垣所長

指定管理者でありますワーカーズコープの所長をしております松垣と申します。よろしくお願いします。それでは、私の方から今年度上半期の実績と下半期の取組みについて、お手元の資料にあります「事業計画書の概要」にそって説明させていただきます。

まず、「1. 市民活動に関する情報の収集及び提供」について説明させていただきます。市民活動並びに市民活動を支援及び促進する機関に関する各種資料の収集、整理、掲示及び配架につきましては、日常的にセンターに届けられる資料の収集、整理、掲示、配架が中心となります。また情報誌の編集を通じて職員によるセンター外部の情報収集活動もあわせて行ってまいりました。お手元の資料にあります緑色のセンター利用案内のリーフレットを作成しました。後でご覧いただけたらと思います。資料の配架方法についても、当初はクリップ留めで配架しておりましたが、利用者懇談会において、見づらいとのこと指摘がありましたので、専用カゴによる配架に変更しました。追加資料の中にも写真がありますのでご覧いただけたらと思います。下半期も掲示及び配架物の分野別・目的別の分類整理を行うとともに、配架物や情報の量も増やしていきたいと考えております。

図書等の貸出しについては、図書コーナーと団体情報コーナーの位置を入れ替えました。リーフレットの中に配置図がありますが、右上のワーキングスペースに図書がありますと奥まった所にあるため目に付きにくく利用しづらいことから実施しました。変更後は、利用カードの申請も月を追う毎に増えてきております。今後の取組としては、図書の一覧をHP上で掲示していくことや、センターの情報誌やメールマガジンで新着した書籍の情報を提供してまいりたいと考えております。

HPの管理については、名古屋市から段階的に引継ぎを行ってまいりました。情報の更新作業はほぼ毎日行っておりまして、一部HPのレイアウトも変更しております。下期の方針としてはHPの内容を充実させてアクセス件数を増やして利用価値を高めていきたいと考えています。市民活動団体の情報登録及び管理については、HPからの団体登録の件数は、上半期で25団体あり9月末時点で合計179団体となっております。現時点でHPを確認すると185団体となっております。今年度中には団体登録件数を300団体まで増やしたいと考えております。また、情報コーナーの紙ベースでファイリングしている団体情報とHP内の情報が一致していくように整備を進めていきます。

施設見学者の対応については、事前に申し込みがあったものでは、大学生や周辺都市の支援センター職員の見学希望者の対応となり、全部で3件となって

おります。

下半期では、中学生の職場見学の受入ということで、1件対応しています。学生から2時間程度質問を受け、その途中に先生が様子を見に来るという形の受入を10月に行い、今後も年明けに2件同様の受入を行う予定です。

次に「2. 市民活動に関する相談」について説明させていただきます。

窓口又は電話等による市民活動に関する相談及び情報提供では、4月当初の相談件数は昨年比で減少しておりましたは、その後毎月増加傾向にあり9月には180件と昨年比で77%、前年度末と同水準まで回復してきております。相談内容に関する職員研修を引き続き実施し、質問に対して全ての職員が同じように対応できるように相談記録情報の整備を図っていきたいと考えています。

市民活動団体の設立又は運営に関する相談及び情報提供については、ボランティア及びNPOについての相談及び情報提供件数も、年度当初は管理団体が切り替わったということで、足が遠退いていた部分もありましたが7月以降は例年水準まで回復してきている状況です。一般相談を受ける中で何かボランティア活動をしたいという相談が一番多く、9月から定期的に毎週1回専門相談日を設けて対応しているところです。ボランティア以外の専門相談については、相談日を設けるほど利用があるわけではないので、今後は事前予約の形で対応していきたいと考えています。

次に「3. 市民活動に関する講座等の実施」について説明します。ボランティア及びNPOに関する講座等の開催では、ボランティア入門講座・NPO入門講座・NPO法人のための実務講座・市民活動ステップアップ講座をそれぞれ開催しました。上半期は事業計画書で予定していた講座の実施が十分に進んでいない状況でしたので、当初の講座計画の実施に重点を置いて取り組んで参りたいと考えています。下半期は一般相談に関する講座事業、専門相談に関する講座事業についてご覧の資料の通り実施していく予定です。

また、他機関からの依頼による講師派遣はありませんでした。市民活動団体相互のネットワークづくりの促進については、7月に市民活動団体に参加いただいた交流事業として懇親会と開所式を開催しました。このような機会に団体相互のネットワークづくりが図れたのではと考えています。当日の状況は、追加資料に添付してありますのでご覧下さい。

次に「4. 市民活動に関する広報」についてです。センター情報誌の発行及び配布についてですが、5月から7月にかけて毎月2000部以上発行し、10月号からは紙面を一新し、下半期からは11月から来年4月号の発行と特別号を2号計画しております。先ほども触れましたが市民活動の啓発イベントの開催については、7月に交流事業を実施しましたが下半期にも開催を計画しております。大規模イベントとしまして「NPO法10年記念講演とパネルディスカッション」という形で12月頭での開催を実施する予定です。

次に「5. 施設の提供」についてです。会議室・集会室の利用件数については前年度比で8%・6%の増加となっております。第1研修室の予約管理システム導入に向けて準備を進めているところで11月から本格稼働に向けた取組が

始まっています。来年3月1日以降の利用分から対象となりますが円滑な運用に努めて参りたいと考えています。

印刷機の作業スペースの利用件数についても増加傾向にあります。大型プリンターの新規導入やホワイトボードの増設により、フリースペースの活動もし易くなっているのではないかと感じております。

ロッカーについては9月に利用抽選を実施しまして空ロッカーを全て解消して現在すべて稼動している状態で、利用料金の収納は100%となっています。

「6. 調査統計資料作成」については、毎月利用実績を作成し名古屋市との連絡調整会議で提出しております。年度末には市民活動に関する調査統計資料の作成を予定しております。

「7. その他必要な管理運営業務」でございます。利用者との協働につきましては、上半期は本格的には進んでいません。利用者から施設備品の提供ですとか、書籍の提供といった形でご協力をいただいている状況です。下半期はイベント・交流事業を通じての主体的な参加を図っていきたいと考えています。市との情報交換につきましても日常的な情報交換や毎月開催する連絡調整会議を通じて円滑なセンターの運営に努めてまいりたいと思っております。施設の連携につきまして、ワーカーズコープが他に運営しております中川福祉会館や児童館と連携し、他施設どうしを結び、ボランティアを紹介したいりですとか利用者がボランティアに参加するといったことが実際に行われました。今後も、これら施設だけでなく範囲を広げて相互に情報交換を進めてまいりたいと思っております。ボランティア活動の育成やNPOの設立の支援については、講座の開催を通じて支援を行ってきたのが上半期の状況であります。今後は市民活動に関する広報と連携し、市民活動団体相互のネットワークづくりを促進しながら、活動の支援育成につなげてまいりたいと思っております。挨拶については全職員に対して徹底しております。利用受付の拡大につきましては、第1研修室の予約管理システム導入に向けた準備を通じた団体登録を含めて増やしていきたいと考えております。苦情対応や利用者の要望については、ご意見箱を設置したり5月には利用者懇談会を開催しております。今後も懇談会を開催していきながら、下半期は市民活動団体の訪問に力を入れていかなければならないと考えております。

志水副会長

それでは、今年度に入ってからの実績と今後下半期の計画について、皆さんのご意見をお願いします。

大熊委員

社会福祉協議会では、ボランティアセンターを開設しまして本部1箇所と16区にボランティアの担当職員がそれぞれボランティア活動に関する質問を受けており、ボランティアをしたい人として欲しい人との需給調整を行うことをしている中で一番難しいのが職員の研修だと思う。職員に対してどういった研修をしていけば良いのかといった部分が悩みの一つである。さきほど職員研修をこれから実施していくとのことでしたが、現在センターの職員は何人い

らして、どんな研修をしようとしているのか教えてください。

松垣所長 現在、職員の数に引継ぎをしている職員もいますが8名です。職員研修につきましては、事業計画ですとか指定管理者としての業務ですとか基本的な部分をしっかり身に付けてもらうよう研修をこれまで進めてきました。今後は、センター職員としての専門性の向上についてボランティアだけでなく NPO に関しても現状と課題について学ぶ機会を作ったりですとか、地域の社会資源とどうつながりを持つのかといった点、ブログや個人情報の取扱い、情報機器の活用などといったことについて研修を進めていきたいと考えております。あとは日常的に相談を受ける中で職員同士がその記録を残し情報を共有しながら具体的なケースについて対応方法を習得していくようにしていきたいと考えています。

志水副会長 その点に関して一つ質問してよろしいでしょうか。さきほど8名の職員ということですが、指定管理者がかわり全ての職員がかわり引き続き勤務している職員はいるのでしょうか。全部新しくなったのでしょうか

松垣所長 全員新しくなりました。

志水副会長 新しくなった全職員に対して、今のような研修を一斉にどなたが行っているのでしょうか。所長さんが行っているのですか。

松垣所長 私は全ての研修を行うのではなく、もちろん私も入って行いますが、組織として対応しますので、東京の本部から支援を入れて実施したりですとか、この地域で関係している団体の方に講師になっていただき実施することを考えています。

吉田委員 8名の雇用形態はどうなっているのですか

松垣所長 現在は、6名が常勤で、2名が非常勤です。

吉田委員 非常勤の方2名以外に臨時的に採用していることはないのですか
非常勤は何時間勤務するのですか

松垣所長 現在、パートといった形はありません。
非常勤は週30時間を越えない範囲で勤務してもらっています。

吉田委員 施設の利用予約について、ネットで予約が出来るといったことを聞いたのですが、いつから利用できるのか

- 松垣所長 11月1日から受付を行っています。センターの集会室・会議室は対象にはな
っておらず、今回は第1研修室について、平日の夜間と土曜・日曜について、
予約をインターネット上で行うことができます。
- 吉田委員 経費の有効的な活用につながる工夫を何かされているのですか
- 松垣所長 コストの削減についてどのように考えているかということについては、経費
の大部分が人件費ですので大幅に削減ということにはなりにくいと思います。
さきほどの施設予約機能は事務の効率化というよりは利用者の利便性を高め
ることが目的になっています。今までは利用日の3ヶ月前の朝10時半にセン
ターの窓口で申し込みをし、希望者が複数いる場合は抽選を実施していまし
た。今後は、申込締切りまで1ヶ月の猶予があり、その間に申込登録を行えば
よく、当日に来館する必要もないので利便性が向上するものといえます。
- 平井委員 主催講座の参加費用はどうなっていますか。参加費用の有無の違いは、講師
の違いとかが理由でしょうか
- 松垣所長 無料で実施する講座もありますし、資料代ですとか必要経費を負担してい
ただくことがあります。2時間程度でしたら無料ですとか千円の負担をお願いす
ることがあります。講師の方には基本的に一律の報酬をお支払いしています。
- 平井委員 講師の選定はどのようにされているのですか。今までのやり方を引き継いで
いるのですか。
- 松垣所長 講師の選定は、指定管理者として内部の職員で検討しています。私共は新し
い指定管理者なので、今までの講師にそのままお願いするというのではなく改
めて検討をお願いしています。
- 平井委員 講師の選定に際しては、何も意見や議論をすることなく今まで通りの講師に
お願いするというのではなく、現在一番適切な講師を毎回検討するようにされ
ているのですね。
- 松垣所長 講師の選定に際しては、改めて検討するようにしています。
- 平井委員 3月の運営審議会で、ワーカーズコープからの発言で「自分たちは全国展開
しています。従って、そこの地域の特性を生かして展開していきたい」と発言
されました。その時、私は「名古屋の地域の特性をどのように考えていますか」
とお聞きしましたら「まだわかりません」と言われ答えがありませんでした。
現在、半年以上経過した時点でどのように地域の特性を考えみえて、それを運
営にどう生かしているのか教えて下さい。

松垣所長 私も 8 月に赴任してきたということで、私個人の実感としてはまだ十分ではない状況ではありますが、名古屋の特性については様々な団体や業者と接している中でつかんでいる途中であり、現時点でこのように考えていますと申し上げられるものは無いのですが、私共はもともとこの地域に拠点が無かったということで、今回新たに活動の場を作っている状況です。私共がつかんでいない状況については、実は「市民フォーラム 21」という NPO 法人がありまして、そことコンサルタント契約を結んで、この地域の状況について私共がまだつかめていない状況についても、情報提供を受けながら一緒に進めている状況にあります。

ですから、講座の講師の選定や様々な活動をしていく上で、相談しながら、わからない部分については指導をいただきながら一緒になって進めている状況にあります。

平井委員 少し答えが違いますよね。地域の特性ということですけど。研修をされる時に、職員の方に名古屋にはこういった地域の特性があるといったお話はされないのでしょうか。ワーカーズコープさんのお話ですと全国展開していて様々な地域で様々な違いを見てきて、そこで今度名古屋では地域の特性を活かした事業展開ができるということこそ強みだとお話されていたのですが。

川辺本部長 市民活動としての活動自体の特徴というのではなくて、名古屋という土地柄の特徴ということでしょうか

平井委員 それは、そちらがおっしゃったことですので、どのような感じで言われたのか私にはわかりません。地域の特性を活かしていきたいと発言されたので、私はその特性を具体的にお聞きしたいのです。

川辺本部長 そのように答えた意味が、多分私は市民活動促進の拠点なので、市民活動として名古屋でどんな特徴的な活動があるのかということと言うと、市民フォーラム 21 と相談する中でも情報を入手したりするのですが、この半年で一つはやはり外国人の方が多くて、外国人を支援している方がこのセンターでは盛んです。それがこの愛知・名古屋の特徴の一つではないのかなと感じます。後は転勤で来られている方が多くて、そういう方々の中で地域とのつながりの無い方、とりわけ女性の方が地域でネットワークを作って自分の力を生かしたいといった特徴的な活動があると強く感じています。

三品委員 講座についてですが、都市センターでも住民主体のまちづくりの輪を広げるということで、そのファシリテーターの講座を開催したりしているのですが、講座を成功させるにはニーズを事前に把握していることがとても重要だと思います。ニーズが無ければ開催しても応募してこないですし、あまり効果が期待できないと思います。昨年度の事業報告書を見るとボランティア講座でも国

際交流援助といったものに関心をもった方がボランティア相談に多く来られているのかなと感じますし、去年の講座の実施例を見ましてもそういった国際交流にからんだものに多くの人が集まってきているような気がします。ただ、20年度の事業報告書を見ましたら国際交流にからむような研修や講座が載っていないので、その点ニーズをどのように捉えているのか、去年これだけ国際交流に関する研修や講座に人が集まっているので、今後もこれらを取り入れていく意向があるのか教えていただけますでしょうか。

松垣所長

今年度の企画の所では、こういった分野の講座といった点について実施が予定されていません。当初の企画段階では検討にはあがっていなかったのですが、今年事業を行っていく上で、先ほども川辺から申し上げました通り、名古屋の地域特性から言ってこういった分野に関心が高いという点は運営をしていて感じる場所ですので、下半期に直ぐに実施できるのかという問題がありますが、来年度に向けて計画作成の段階で反映させていきたいと考えております。

三品委員

先ほど、発言された通り、外国の方が多くてその方々に対するボランティアも多く広がっているということですので、是非そういったニーズを取り入れて講座を運営していただけると良いかなと思います。

志水副会長

とても良い意見だったと思います。それにかからんで質問させて下さい。8名の新しい職員の有り様が気になっています。所長さんがまず8月に赴任されたということを聞いてびっくりしました。3月の運営審議会で先ほど平井委員からもありましたように、一抹の不安があり今回の運営審議会がとても待ち遠しかったのです。あの不安が今回どれだけ払拭出来ているのかお聞きしたいということをまず感じました。つまり、私も名古屋に初めて着た時に感じたことですが、私も名古屋に来て40年になりますが、名古屋の方にしてみれば、私などはまだよそ者だと、そういった土地柄もあります。新しく転勤してきた人達のニーズというものは表面に出易いですし、つかみ易いのです。特にセンターのような場所にかかわる人はアクティブな人達なのでわかり易いのです。

しかし、ずっと名古屋にいて深く考えている人達のニーズは、なかなか表に出てこないのです。そういった意味で8月に来られた方にはなかなかつかめないだろうと思います。先ほど名古屋の特性にこだわられたということは、ここでワーカーズコープさんが本気で仕事をおやりになると考えるのであれば、その辺の名古屋の実情をしっかりと把握する覚悟・信念を持っていくのが重要だと思います。

先ほどの8人の方達は、全国展開で何年おきに転勤になるのか、その点、本部の考えをざっと説明していただけますでしょうか。職員がころころと代わってしまうと分からないまま上滑りしてしまうおそれがあると思うのですが。

松垣所長 職員につきましては、私は4月から所長をしている者との交代で8月に来たのですが、センターのスタッフは基本的に地元で採用して地元で継続して勤務するという形をとっています。ワーカーズコープは全国展開していますが、新たな拠点ができる場合の立上げの支援という形で、私のように異動するメンバーもいないと上手く発展していかないということもあり、私は今回異動してまいりました。したがって、みんなが私と同じように頻繁に異動するといったことはありません。

志水副会長 ただ、8人の方達は今までボランティアのような活動をした前歴がある方達なのでしょうか。というのは、色々な相談がセンターに入ってきた時に対応が必要だからですが。

茂谷係長 指定管理者を募集する段階で、2名以上の職員は1年以上のボランティア・NPO活動の経験がある方という条件をつけております。それに対応した職員を採用してもらっております。

雑賀委員 利用実績ですが、来館者総数は増えているのですが、相談・情報・主催イベント等は昨年比で落としているのが歪に感じます。例えば、講座や相談が増えたから来館者が増えたというのであれば理解できますが、逆というのは何故でしょうか。

松垣所長 来館者総数については、実際に講座をやる場合もありますが、集会室や会議室・第1研修室を利用される方も数に入っておりますし、フリースペースで活動される方も数に入っております。ですから、必ずしも私共の開催する講座だけで来館者数に大きな影響を与えるというものにはなっていないようです。また、来館者の数については、毎日カウンターで計測しています。

雑賀委員 (主催講座の開催数は、昨年実績の) 実質半分ですよね。(昨年実績の) 8割ぐらいの水準を保っていて、そのように言われるのであれば理解できるのですが、相談・情報提供が48%でしょう。それはちょっとおかしいのではないかと思います。大幅に落ち込んでいますよ。

松垣所長 相談・情報提供で言いますと、来館されてご相談される方もおられますし、あるいはお電話で相談される方もおられます。必ずしもセンターに来られて対応する人ばかりとは限りません。

茂谷係長 4月に指定管理者が代わりまして、先ほど志水副会長や平井委員からお話のありました新しい指定管理者に対する一抹の不安という点については、指定管理者が今回初めて名古屋で事業を展開される団体ということで、推測の域を出ない部分もありますが、前指定管理者が地元の団体ということで3年8ヶ月管

理運営してこられて、かなりの実績を上げてきています。相談件数も毎年上昇してきており利用団体からも評価いただいているところでございます。

今回、新しい団体が指定管理者となり、いきなり新しいところから来られ、この地域の事情をどれだけご存知なのかという懸念が、相談件数などに表れてきているのではないかと考えております。相談する側にしてもこの地域事情をどこまで理解しているのかという不安があったのではないかと名古屋市も考えています。しかしながら、当初は相談・情報提供件数が昨年実績に比べ落ち込んでおりましたが、9月の段階ではかなり数字的には戻ってきております。

センターの運営に関しては、継続していくことが重要と考えています。新しい指定管理者になったら数字が大きく落ち込んだというのではなく、従前のレベルかそれ以上の水準を維持していくよう、研修等を通じて職員のスキルアップを図るなど利用者の満足度を高める工夫をしていく必要があると考えております。

雑賀委員 質問の答えになっていないと思います。新しい指定管理者にかわって来館者が減るというのであればわかるのですが、(来館者総数が増えていながら相談・情報提供件数や講座開催数が)減って48%というのはおかしいのではないのでしょうか。

茂谷係長 カウンター相談等だけでなくフリースペースも含めた施設利用については、印刷機の利用ですとか会議室・集会室の利用など施設の使い勝手については評価をいただいているものと考えています。しかし、相談・情報提供といったものになりますと指定管理者の経験や力量によるところがあります。私もセンターの直営時代に勤務しておりましたが、特定の人に継続して相談してみようといった事もありますので、働いている人が代わったことによる影響は否定できないと思います。そういった点で来館者総数や会議室等の利用率は昨年の実績を維持している一方、(相談・情報提供といった部分については)指定管理者の努力といったことがまだまだ必要な部分があると思います。

吉本委員 下半期の予定で、中学生の職場研修とありましたが、これはどういった経緯で決まったものですか。

松垣所長 これは、私共が企画したものではなく、学校の方から社会見学の一つとして中学一年生の職場研修を受け入れて欲しいという依頼があったものです。

吉本委員 名古屋に住む年配の方々は、高年大学を知っていても、このセンターの活動は知らないといった方が多い。中学生がセンターでの職場体験について家庭で話せば、家族がセンターの活動を知ることになるのではないのでしょうか。

三品委員 センターのHPを見させてもらいましたが「施設のことを知りたい」という

ことで情報コーナーや図書のコーナーというものが掲載されていますが、以前の団体は HP に情報誌を掲載していましたが、今の団体の情報誌は掲載されていないので情報が止まっているように感じましたので、HP 上の掲載情報については更新していった方が良いと思います。初めにセンターの HP を閲覧する場合、一番始めに見に来る場所なので、出来る限りこういった情報は充実させた方が良いと思います。

志水副会長

先ほど吉本委員のお話のとおり、名古屋の中に入っていく良い提案があったと思います。一つの切り口として参考になさったと思います。HP やインターネットというのはあるレベル以上の方にはとても苦手なもので、申込が面倒で止めるという場合もありますし、その方がずっと便利だという場合もありますので、両方について検討していただけたらと思いますのでお願いします。

とにかく新しく始まりましたので、何かとまどいも多いと思いますが、今お聞きしていると真摯に取り組んでいこうという気持ちが十分に伝わってきましたので、まだまだ完璧にはほど遠いですが我々も一緒に良い方向に進み市民に親しまれるセンターになるといいなと思っております。

今度の運営審議会はいつ頃ある予定でしょうか。

茂谷係長

次回の予定は、今年度末に来年度の事業計画についてご説明を 3 月に想定しております。

吉田委員

センターの事業の中でボランティアに対する支援と NPO に対する支援のウエイトはどのようになっているのか。名古屋市の NPO 法人に対する施策や財政的な支援など芳しくないのではないかな。またボランティア活動がしやすい環境を整備してもらえたらと思います。

茂谷係長

センターは名前の通りボランティアと NPO の両方を支援するものです。ボランティア活動をされている人や団体が活動を継続していけるような様々な施策を用意する一方、NPO のあり方ですとか組織運営、法人化、マネジメントを支援していく施策についても利用者のニーズを加味しながら事業計画へ反映していくようにお願いしているところであります。

杉山課長

ボランティアの皆様には情報提供や地域のニーズを結びつけたりする形で支援をしていこうと考えており、NPO 法人に対する金銭での援助は行っておりませんが、市の事業に応募していただき NPO の仕事として市の事業を受託してもらい活動を行っていただく場合もございます。市民活動の促進ということでボランティア・NPO 活動という形で取り上げておりますが、原則無償での活動といくことで、中でも NPO 法人は特定非営利活動法人ということで誤解されることも多いのですが、NPO 法人は活動を通じて利益を上げてはいけないというのではございません。活動に伴う収益で人件費等をまかなっていく

ことになります。こうした団体や法人での市民の活動のあり方は、第3の形として本市も促進が必要だということでこのセンターを開設しました。特定の団体への援助という形ではなく、指定管理者のノウハウを活かしセンターの機能をより有効にしていくという形でボランティア・NPO 法人の支援につなげて参りたいと考えております。

志水副会長 なごやボランティア「・(ポツ)」NPO センターということで、「ポツ」のついたセンターの意味を、私たち委員も十分に理解していないところがあるのかもしれない。今回説明をしていただけたので「ポツ」の入っている意味を理解したうえで意見をいただけたらと思います。

吉田委員 ボランティアグループを運営していくには、専門的な知識が無いということが大きな問題で、センターに期待するのはボランティアに携わっている人が勉強できる実践的で応用的な講座があればと思います。

志水副会長 要するに今のご指摘は講座の内容ということです。入門講座だけではなくもっとボランティア活動の専門的な講座が必要だというのは市民委員からの重要な指摘の一つだと思います。今後は是非活かしていただきたいと思います。

雑賀委員 前の代表(所長)はなぜ交代されたのですか。

松垣所長 個人的な理由がありまして、前の所長も地元の者ではなかったので自宅の方へ戻らなければならない事情があり、急遽このような形となりました。

雑賀委員 以前、チラシを見まして KY 解雇と書かれたものがあったのですが、要するに新しく指定管理者になられて、名古屋市から指摘を受けて職員を解雇したという空気を読めない解雇をしたことでトラブルになっていると書いてありました。聞くとまだ問題は解決されていないということですがご存知ですか。

坂林理事 その点について説明させていただきます。5 月に一人の職員をめぐって退職勧奨をした問題が解雇事件に発展して、ただその対応が非常に拙速であると指摘を受けて解雇は撤回しております。その問題について我々は解決済だと理解していたのですが、その報道がインターネット等で行われたのは事実です。その後に話し合いを継続した上で、現在インターネット上のものを完全に削除することは出来ないのですが基本的な問題は無くなっていると考えておりますので、委員がご指摘されたように問題がまだ継続しているというのは別の話しであろうと思われます。

松垣を所長に据える人事については、春先からの内部の人事問題でぎくしゃくしていたことがあり、その中で意思統一がされていなかったりする部分があり、それが事業の進捗状況に影響を与えていたことは事実であろうと考えてお

ります。それを解消するために松垣が新しく所長になり、現在必死に努力しているところで、一定の落ち着きと事業計画の進捗は進んでいるのですが、なお今後も職員研修を含めてしっかりやっていかなければならないと取り組んでいるところです。ご指摘のようなことがまだあるとしたら、内部での理解が十分ではないのかもしれないので、その点については鋭意努力して参りたいと考えております。

雑賀委員

新しく指定管理者になられたということで、従前の通り同じ水準にというのは難しいと思うのですが、下がったら下がったでいいのですが、一見すると作為的な数字に見えたので、問題があるのでしたら出来る限りオープンにしていいただいた方がよろしいのではないのでしょうか。

志水副会長

ただいま、努力を重ねていくという所信表明がありましたので少し見守りましょう。今日の時期に審議会が開催されたのも、それが落ち着いて少し先の見通しが立ったということが理由だろうと思いますが、今後とも私たちがしっかり見守りながらワーカーズコープの活動を暖かく支援して市民のために頑張っていたきたいと思います。

これで議題2については閉じさせていただきたいと思います。何か全体的に議題に限らずご意見がありましたらお願いします。

出来ましたら、千頭会長が出席されましたら本格的に審議できましたらと思います。あと、事務局から何か補足することがありますでしょうか。

茂谷係長

先ほども申し上げましたとおり、次回の審議会開催につきましては、来年度の事業計画について今年度末にご報告できたらと考えております。その際、改めて今年度事業の進捗状況について指定管理者から報告してもらおうと思います。

志水副会長

それでは、今年度末あたりで次回開催することとしまして、委員の皆様も何かありましたらお尋ねいただいて活動を見守っていただけたらと思います。

本日は、ありがとうございました。

茂谷係長

志水副会長様、本日は突然の司会進行をしていただき大変ありがとうございました。それでは「平成20年度第1回なごやボランティア・NPOセンター運営審議会」を閉会させていただきます。本日は、お忙しい中、誠にありがとうございました。